

令和6年2月5日

会員各位

ふくい産業ロボット研究会
会長 浪花 智英

令和5年度 第3回 ふくい産業ロボット研究会
事例発表会（IR交流会）のご案内

時下、会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
このたび、会員を対象としました事例発表会（IR交流会）を下記のとおり開催いたします。
会員の皆様には是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

- 1 日 時 令和6年3月7日（木） 13:30～16:10（受付 13:00～）
2 場 所 福井県工業技術センター 研修棟2階 講堂（福井市川合鷺塚町61字北稲田10）
3 主 催 ふくい産業ロボット研究会、ふくいオープンイノベーション推進機構（FOIP）
4 内 容

（1）開 会 (13:30)

（2）事例発表① (13:35～14:05)

「製造現場の生産性向上と省力化のための自動化ロボット活用術」

株式会社アフレル 代表取締役社長 小林 靖英 氏

<概要> 最短2か月納期、最大3人分対応の小型ロボット・アーム、そして17%生産性向上の自動搬送ネコロボット。切迫課題の人手不足、求められるDXによる生産性向上、これらを解決するロボット・システムパッケージについて紹介します。

事例発表② (14:10～14:35)

「産業用ロボット導入による自動化・省人化モデル」

春江電子株式会社 代表取締役 山口 博司 氏

<概要> 工場の産業用ロボット導入の注意点、大企業の工場と中小企業での自動化・省力化の考え方の違いについて紹介します。

～ 小 休 憩 ～

事例発表③ (14:45～15:10)

「ROS のモデリングやシミュレーションへの活用事例」

福井大学 工学系部門 工学領域 知能システム工学講座 教授 浪花 智英 氏

<概要> 福井大学工学系部門知能システム工学講座ロボティクス研究室では、従来マニピュレータの遠隔操作系の開発にROSを用いてきました。今回は、近年で増えきた、モデリングやシミュレーションへの活用事例について紹介します。

事例発表④ (15:15～15:40)

「小型協働ロボットの紹介と活用方法の提案」

福井県工業技術センター 機械・金属部 研究員 三好 克菜

<概要> 工業技術センターで開発した卓上小型ハンドリングロボットの活用方法、普及に向けての取り組みについて紹介します。

事例発表⑤ (15:45～16:10)

「再生可能エネルギーを利用した複数ドローンの制御によるホース把持システムに関する研究」

福井県工業技術センター 機械・金属部 主任研究員 田中 大樹

<概要> 再生可能エネルギーを利用した複数ドローンによる省エネ散液システムの開発に向け、太陽光発電から水素を製造・貯蔵する実証実験やドローンがケーブル・ホースを把持するための部材開発を行いましたので、その内容について紹介します。

（3）閉 会 (16:10)

- 5 参加対象 ふくい産業ロボット研究会の会員
 ※ 研究会への入会については随時受付けております。ただし、入会条件がございますので、入会を希望される場合は下記事務局にお問合せください。
- 6 参加費 無 料
- 7 定 員 60名程度（先着順で受付）
- 8 申込締切 令和6年3月5日（火） ただし、定員に達した時点で締切らせていただきます。
- 9 申込方法 ① E-mail の場合
 御社名、所属部署、役職、氏名、メールアドレスを明記の上、事務局のメールアドレス（first@fklab.fukui.fukui.jp）あてにお申込みください。
 ② FAX の場合
 下記参加申込書に必要事項をご記入の上、事務局の FAX（0776-55-0665）あてにお申込みください。

※ お申込みで取得した個人情報、本人への連絡に使用させていただきます。
 ※ 当日の発表会にお越しの際は、環境への配慮から、できる限り公共交通機関をご利用ください。また、車をご利用される場合は、アイドリングストップにご協力ください。

<ふくい産業ロボット研究会事務局>

〒910-0102 福井市川合鷺塚町 61 字北稻田 10 福井県工業技術センター内

担当： 機械・金属部 三好、佐賀、野村

E-mail : first@fklab.fukui.fukui.jp FAX : 0776-55-0665 TEL : 0776-55-0664

ふくい産業ロボット研究会事務局（機械・金属部 野村）あて
 (FAX 0776-55-0665)

ふくい産業ロボット研究会 事例発表会〔3/7(木)開催〕 参加申込書

御社名： _____

所属部署	役 職	氏 名	メールアドレス